

## 授業概要

科目名		整形外科学			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
整形外科学は、理学療法士科・作業療法士科の学生が、脊柱・脊髄、骨・関節、末梢神経、筋肉・腱などの運動器の解剖と機能を理解し、卒業までに必要な運動器の外傷と疾患の身体所見、検査、診断方法、治療法についての基礎的な知識を身につけることを目的とする									
〔授業全体の内容の概要〕									
卒業までに必要な運動器の外傷と疾患の身体所見、検査、診断方法、治療法についての基礎的な知識									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕									
1.運動器の概念と生理を説明できる                      2.外傷学(骨折・脱臼・スポーツ外傷)を説明できる 3.リウマチ性疾患を説明できる                      4.変形性関節症を説明できる 5.脊椎・脊髄の疾患を説明できる                      6.末梢神経損傷を説明できる 7.上肢の疾患を説明できる                      8.下肢の疾患を説明できる 9.骨系統疾患を説明できる                      10.代謝性疾患を説明できる 11.軟部組織・骨・関節感染症を説明できる                      12.骨腫瘍を説明できる 13.軟部腫瘍を説明できる                      14.脊髄腫瘍を説明できる 15.運動器の外傷や疾患に興味を持ち、整形外科学的な視点から、身体所見や診断方法・治療方法について考えることができる(態度・習慣)									
回数	講義内容								
1	運動器の概念と生理①								
2	運動器の概念と生理②								
3	運動器の概念と生理③								
4	外傷学①								
5	外傷学②								
6	外傷学③								
7	リウマチ性疾患								
8	変形性関節症①								
9	変形性関節症②								
10	脊椎・脊髄の疾患①								
11	脊椎・脊髄の疾患②								
12	末梢神経損傷①								
13	末梢神経損傷②								
14	上肢の疾患								
15	下肢の疾患								
16	骨系統疾患								
17	代謝性疾患								
18	軟部組織・骨・関節感染症								
19	骨腫瘍								
20	軟部腫瘍								
21	脊髄腫瘍								
22	整形外科リハビリテーション								
23	総合								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学							医学書院		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
単位を取得するには期末試験100%のうち60%以上の得点が必要									